

大阪税関の仕事

安全・安心な社会の実現

税関では、我が国の社会の安全や経済の秩序を守るために、港や空港において24時間365日密輸の監視取締りにあたっています。

密輸の取締り

監視艇による水際取締り



船舶乗組員による社会悪物品密輸入や洋上での不正薬物等の取引に対処するため、警察や海上保安庁と連携し、海上における水際取締りを実施しています。

船舶・航空機の取締り



外国から入港する船舶・航空機を利用して社会悪物品等が国内に持ち込まれることがないよう、船内・機内検査、張込み、検問、巡回等を行っています。

携帯品の通関手続



外国からの航空機旅客、船舶旅客の携帯品(手荷物)通関手続を行うとともに、不正薬物やコピー商品、希少動物等輸出入が禁止・規制されているものを水際で防ぎます。

テロ対策

テロ関連物資の不正輸出入阻止



我が国におけるテロ行為等を未然に防止するため、警察等関係取締機関と連携するほか、民間事業者から不審情報を収集する等、爆発物等テロ関連物資の不正輸出入阻止に取り組んでいます。

犯則調査

関税法違反事件に係る調査



不正薬物、銃器等の密輸入や、関税の脱税など、関税法違反の犯則調査を行います。適正な通関と貿易秩序を維持するため違反事件の真相を究明し、悪質事犯については検察庁に告発して処罰を求めます。

情報収集・分析

海外や国内の取締機関や情報機関と連携し、密輸取締に関連する情報の収集や分析を行っています。

【税関の3つの使命】

安全・安心な社会の実現

適正かつ公平な
関税等の徴収

貿易円滑化の推進

取締・検査機器

大型X線検査装置



コンテナや自動車などの大型貨物の検査を可能とするため導入されました。正確性と迅速性を両立し、検査効率の向上につなげています。

麻薬探知犬を使った検査



人間の数千から数万倍といわれる嗅覚を利用し、ハンドラーとともに携帯品や外国郵便物、国際宅配便、商業貨物等に隠された不正薬物の発見・摘発に貢献しています。



税関旗

税関旗は、明治25年8月3日に制定され、青いところが“海と空”白いところが“陸地”、その接点に税関があることを意味しています。

ゲート(門)の中の天秤は公平を、鍵は保全を意味し、税関の役割を図で表現するとともに、3つの桜が税関の使命(安全・安心な社会の実現、関税等の適正・公平な課税、貿易の円滑化)を示しています。

